

今日の説教のポイント <マタイによる福音書 10 章 1~4 節>

①弟子たちがイエス様と同じことをできるようになる?!

イエス様が弟子たちに、「汚れた霊を追い出し、あらゆる病気を癒すため」の権能をお授けになりました。弟子たちがイエス様と同じような奇跡を起こせる存在になったのでしょうか?! しかし、ここで考えなければならないことはもっと他にあります。「なぜ、そのようなことをイエス様がなされたのか」です。この問題を考えるためには、今日の箇所の前後を読むことが大切です。

今日の前の箇所では、苦悩する人々を見てイエス様が深く憐れまれたことが記され(9:35-38)、今日の後の箇所では、苦難が待ち構える中に派遣される弟子たちへの心構えが続くのです(10:5 以下)。ここで大事なことは、大きな権能をお持ちのイエス様が苦悩している者たちのことを深く憐れまれるお方であること、そして、このお方の救いを伝えようとした者たちに同じ権能が与えられたということです。自分のことだけ考え、「イエス様を信じたら凄い力を持てるのか。あり得ない」などといったことを考えても意味ないのです。

②私たちは皆、主に選ばれた 12 使徒たちと同じ恵みに与っている!

選ばれた 12 弟子は漁師あり、徴税人あり、以前は政治的結社に属する者ありで、実に様々な人たちでした。実は、「マタイ福音書」で「使徒」という表現が使われるのはここだけです。特別な存在ではなく、イエス様を信じた者は皆が感謝し、喜び、福音の広がりのために用いられて行く。マタイはそのように考えているのです。ですから、12 弟子がどんな賜物、能力を持っているかが問題ではなく、色んな人がイエス様の回りに集まり、使徒とされたこと自体に大きな意味があると思います。「12」という数字は神様の最初の選びの民イスラエル 12 部族の 12 を引き継ぐことを象徴しています。「新しい神の民」なのです! 新しい神の民である教会は、何をやるかで決まるのではなく、その前に、どれだけ神様に感謝して、喜んでいるか、そういう者の集まりであるかで決まるのです。皆、悩みを抱えて生きています。悩みを抱えているけれど、この神様と共に生きて行こう、そうできることに感謝している、それが喜び。それでいいのです!